

平成 25 年 12 月 13 日～15 日 日・ASEAN 特別首脳会議

高齢化関連トピックス抜粋

厚生労働省大臣官房国際課

●日・ASEAN 特別首脳会議における総理ご発言（抜粋）

- ・保健・医療分野では、日本は ASEAN におけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)の達成を重視。世界第一位の健康寿命達成国である日本が大きく貢献できる分野。
- ・母子保健や感染症対策等の基礎的保健サービスの拡充、救急救命、高齢化や非感染性疾患等の新たな課題への取組に貢献したい。
- ・また、ASEANを健康寿命先進地域にすべく、健康イニシアチブを提唱し、医療水準の向上、健康増進及び病気の予防の推進等を目指し、日本の経験・知見を移転していきたい。

●日・ASEAN 特別首脳会議において採択された「日・ASEAN 友好協力に関するビジョン・ステートメント」（仮訳・抜粋）

- ・貧困を撲滅し、気候変動、災害、都市化及び高齢化社会に起因する問題に対処するために協力を強化する。
- ・ユニバーサル・ヘルス・カバレッジに向けた医療制度及び社会的セーフネットの改善並びに政治、経済、及び社会・文化的開発への参加のための女性の能力強化について経験と知識を共有する。

●上記ビジョン・ステートメント実施計画（仮訳・抜粋）

- ・公的医療保険制度、保健サービスの提供及び人材育成を通じてユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成した日本の経験を共有するなど、UHC の促進のために協力する。
- ・すべての人々の恩恵を最大化させるよう、がんや生活習慣病の予防防止を含む非感染性疾患のための質の高い保健サービス、医薬品及び医療機器の普及への協力を促進する。
- ・政策対話及びモデル事業の促進や高齢化社会に関する人材育成を通じた ASEAN 加盟国及び日本の高齢者への保健及び福祉サービスの向上への協力を促進する。